ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
「取扱説明書」はお読みになった後、いつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

もくじ

はじめに

AV

情報 / 設定

その他

はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に

免責事項について

- 火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- 本製品に入力した個人情報 (電話番号など) は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理 (消去など) は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失、記録内容の変化・消失など) に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものもしくは説明用に作成したものです。実際のものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に記憶された情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱自動車は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。
  必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
  - 画面に小さな黒点、輝点 (赤、青、緑) がある。
  - 寒冷時など、画面の動きが遅い。
  - 高温時など、画面が暗い場合があります。
  - 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの (ペン先・つめの先など) でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。

- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。

■ iPod/iPhone 再生機能（オプション）

- 本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

商標について

- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 社の商標または登録商標に基づき製造されています。
DTS は DTS 社の登録商標です。また、DTS Neural Surround および DTS ロゴ記号は DTS 社の商標です。
©DTS, Inc. All Rights Reserved.

PREMIDIA は、三菱電機の商標です。

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc が所有する商標であり「三菱電機株式会社」はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

次のページにつづく

Made for iPod iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPod および iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

※ タイプ別装備の Bluetooth® 2.0 インタフェース付き車は対応機器が異なります。詳しくは、車両取扱説明書をご覧ください。

iPod

- iPod 5th generation (video) 60GB 80GB
- iPod 5th generation (video) 30GB

iPod classic

- iPod classic 160GB (2009)
- iPod classic 160GB (2007)
- iPod classic 80GB

iPod nano

- iPod nano 6th generation 8GB 16GB
- iPod nano 5th generation (video camera) 8GB 16GB
- iPod nano 4th generation (video) 8GB 16GB
- iPod nano 3rd generation (video) 4GB 8GB
- iPod nano 2nd generation (aluminum) 2GB 4GB 8GB
- iPod nano 1st generation 1GB 2GB 4GB

iPod touch

- iPod touch 4th generation 8GB 32GB 64GB
- iPod touch 3rd generation 32GB 64GB
- iPod touch 2nd generation 8GB 16GB 32GB
- iPod touch 1st generation 8GB 16GB 32GB

iPhone

- iPhone 4S 16GB 32GB 64GB
- iPhone 4 16GB 32GB
- iPhone 3GS 8GB 16GB 32GB
- iPhone 3G 8GB 16GB

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

表示	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。
	このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。
	この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

⚠警告

禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
  運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
  カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
  事故、火災、感電の原因となります。
- **本機は DC12V マイナス ㊀ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスク挿入口に異物を入れない。**
  火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 警告

必ず行う

- **カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。**
  カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **バックする際はゆっくりした速度で運転する。**
  カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量 (アンペア数) のヒューズを使用する。**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

分解禁止

- **本機を分解したり、改造しない。**故障、火災、感電の原因となります。

接触禁止

- **雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。**
  落雷により感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

- **本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。**
  通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- **カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。**
  カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。

注意

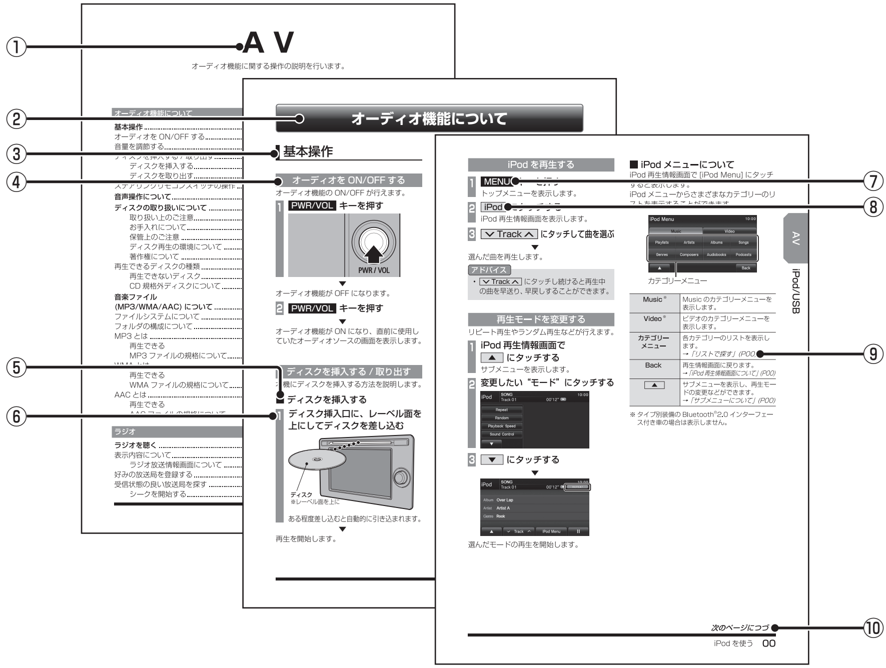
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
  車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。**
  事故の原因となることがあります。

指に注意

- **ディスク挿入口に手や指を入れないでください。**
  けがの原因となることがあります。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① **編見出し**
主な機能に分けて分類しています。

② **章見出し**
編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認することができます。

③ **大見出し**
章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ **中見出し**
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ **小見出し**
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ **操作手順**
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ **○○○ キーまたは [○○○] キー**
パネルでの操作キーを示します。

⑧ **○○○ または [○○○]**
画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑨ ***(P000)***
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

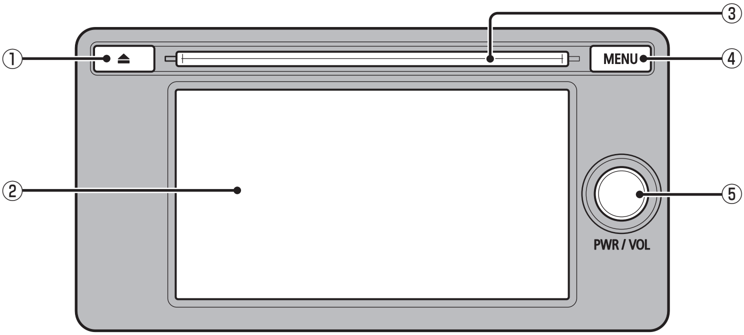
⑩ ***次のページにつづく***
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

基本操作

本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。



① **▲ キー**
　ディスクを取り出す *(P18)* ときに使います。

② **ディスプレイ**
　このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。
　→ *「タッチ操作のしかた」(P12)*

③ **ディスク挿入口**
　本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。
　→ *「ディスクを挿入する」(P18)*

④ **MENU キー**
　トップメニューを表示します。
　オーディオソースを選ぶときに使用します。
　→ *「ソースを切り換える」(P14)*

⑤ **PWR/VOL キー**
　オーディオ機能や電話機能の音量を調節することができます。また、オーディオ機能の ON/OFF をすることができます。
　→ *「音量を調節する」(P17)*

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする

▼



前回最後に使用した機能の画面 (ラスト画面) に切り換わります。

アドバイス

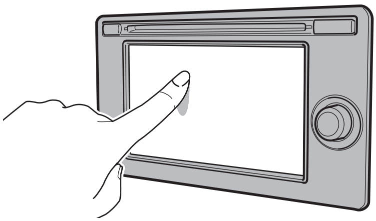
- イグニッションキーを“ACC”または“ON”した直後は、データ読み込みのため、すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



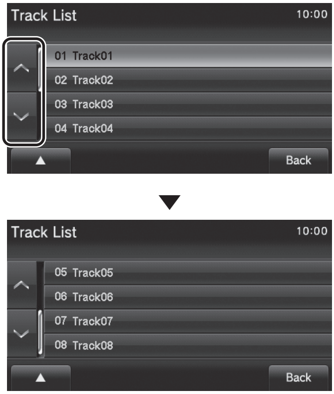
また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

注 意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探すとき

［∨］や［∧］にタッチすると 1 ページごとに表示を送ることができます。



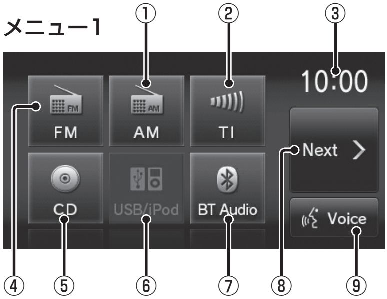
探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

トップメニューについて

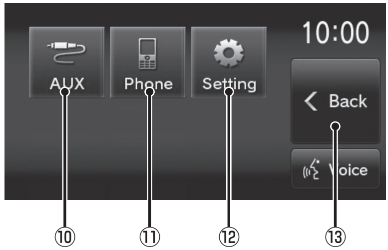
[MENU] キーを押して表示するトップメニューからソースを選ぶことで、さまざまな機能を使うことができます。

表示内容について

メニュー1



メニュー2



① AM *(P29)*
ラジオ機能の AM をご利用になれます。

② TI *(P32)*
ラジオ機能の交通情報をご利用になれます。

③ **時計**
24 時間制または 12 時間制で現在時刻を表示します。

④ FM *(P29)*
ラジオ機能の FM をご利用になれます。

⑤ CD
本機に挿入された各メディアの再生を行います。
音楽 CD*(P33)*
音楽ファイル (MP3/WMA/AAC)*(P36)*

⑥ USB/iPod ※1
iPod が本機に接続されていれば、iPod と表示し、タッチすると iPod 画面を表示します。*(P44)*
USB デバイスが本機に接続されていれば、USB と表示し、タッチすると USB 画面を表示します。*(P50)*
本機に何も接続されていなければ、USB/iPod と表示します。

⑦ BT Audio ※2*(P56)*
Bluetooth 対応オーディオ機器が本機に接続されていれば、Bluetooth Audio 機能をご利用になれます。

⑧ Next
メニュー 2 を表示します。

⑨ Voice ※3*(P20)*
音声認識機能をご利用になれます。

⑩ AUX ※4*(P60)*
外部入力機器が本機に接続されていれば、外部入力機器の音声を再生します。

⑪ Phone ※5*(P62)*
電話をかけたりすることができます。

⑫ Setting *(P73)*
本機の各種設定が行える設定画面を表示します。

⑬ Back
メニュー 1 を表示します。

※ 1)別売の iPod ケーブルが必要です。

※ 2)タイプ別装備の Bluetooth® 2.0 インターフェース付き車で別売の Bluetooth 対応オーディオ機器が必要です。

※ 3)タイプ別装備の Bluetooth® 2.0 インターフェース付き車の場合に使用できます。

※ 4)タイプ別装備です。また、別売の外部入力ケーブルおよび AUX 機器を本機に接続していない場合でも [AUX] は表示されますが、タッチしても音声は出力されません。

※ 5)タイプ別装備の Bluetooth® 2.0 インターフェース付き車で別売の携帯電話が必要です。

トップメニューを切り換える

トップメニューは2ページあります。他のページを見る方法を説明します。

1 Next にタッチする

メニュー 1



▼

メニュー 2



トップメニュー(2nd TOP)を表示します。

2 Back にタッチする

▼

トップメニュー(TOP)に戻ります。

アドバイス

- タイプ別装備や機器の接続状態によりトップメニューが 1 ページになる場合があります。

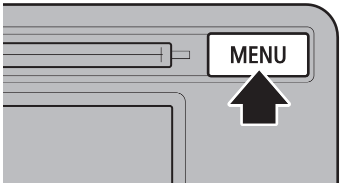
ソースを切り換える

トップメニューを表示し、ソースの選択が行えます。

お知らせ

- 本書では、ラジオや CD などの機能の総称を「ソース」と記載しています。

1 MENU キーを押す



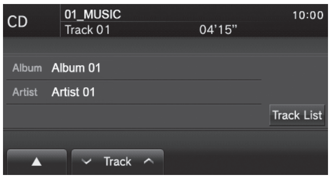
▼

トップメニューを表示します。

2 いずれかの“ソース”にタッチする



▼



選んだソースの画面を表示します。

アドバイス

- 本機に音楽 CD または音楽ファイル(MP3/WMA/AAC)のディスクを挿入していない場合は [CD] がグレー表示となり選択できません。
- 接続されていない機器については選択できません。
- 機種の違いや、オプション機器の接続有無でメニュー内容が異なります。

A V

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

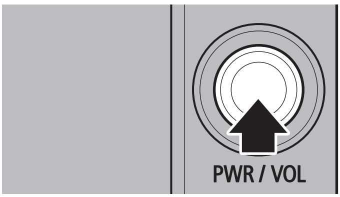
オーディオを ON/OFF する

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

アドバイス

- ステアリングの [MODE] キーを押し続けることでも、オーディオ機能の ON/OFF を行うことができます。

1 **PWR/VOL キーを押す**



▼

オーディオ機能が OFF になります。

2 **PWR/VOL キーを押す**

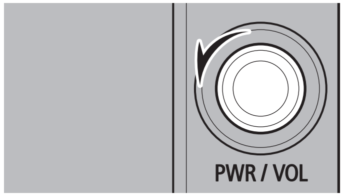
▼

オーディオ機能が ON になり、直前に使用していたオーディオソースの画面を表示します。

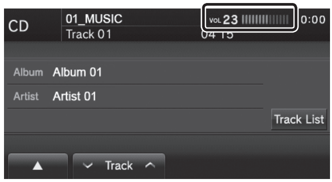
音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 **オーディオ再生中に PWR/VOL キーを左に回す**



▼



音量が小さくなります。

2 **PWR/VOL キーを右に回す**

▼

音量が大きくなります。

ディスクを挿入する / 取り出す

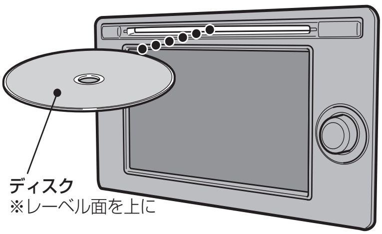
本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注 意

- ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスク挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。

■ ディスクを挿入する

1 ディスク挿入口に、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

▼

再生を開始します。

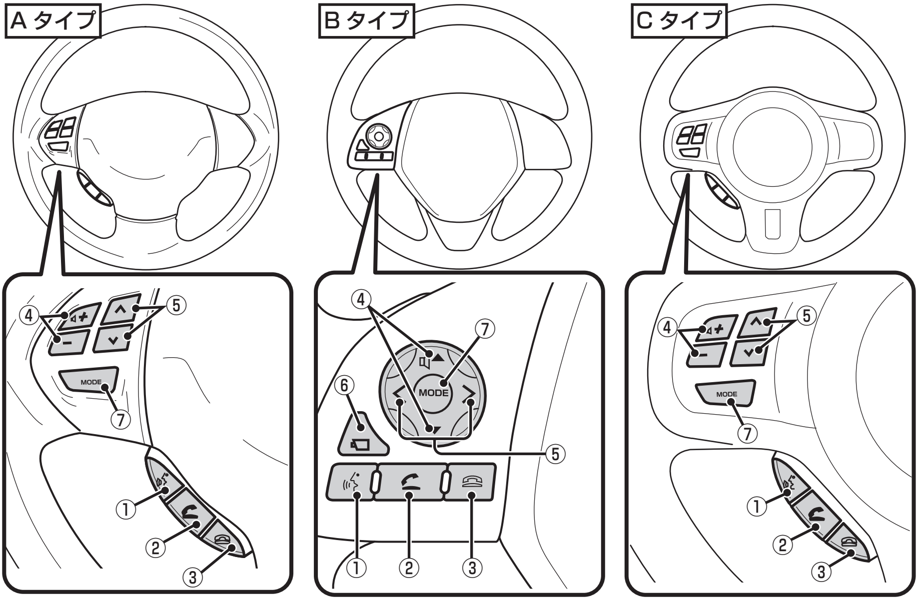
■ ディスクを取り出す

1 [⏏] キーを押す

▼

本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

ステアリングリモコンスイッチの操作



① **“発話” キー**※1
音声認識を開始します。

② **“オフフック” キー**※1
電話を受けるときに使用します。

③ **“オンフック” キー**※1
電話を終わるときに使用します。

④ **＋ キー、－ キー**
オーディオ機能や電話機能の音量を調節することができます。

⑤ **∨ キー、∧ キー**
CD などのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。
押し続けると早送りや早戻しなどが行えます。

⑥ **“カメラ” キー**※2
ディスプレイにサイドビューカメラの映像を表示することができます。

⑦ **MODE キー**
押し続けることでオーディオ機能の ON/OFF が行えます。また、押すたびにオーディオのソースを切り換えることができます。
切り換え順は以下の通りとなります。
接続されていない機器がある場合は、スキップして次のソースに切り換わります。



※ 1)タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合に使用できます。

※ 2)別売の iPod ケーブルが必要です。

※ 3)タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車で別売の Bluetooth 対応オーディオ機器が必要です。

※ 4)タイプ別装備の AUX 対応車のみ

タイプ別装備
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

音声操作について

音声で電話やオーディオの操作を行うことができます。

1 ステアリングの"発話"キーを押し、「ピッ!」と発信音がしてから"音声コマンド"を話す

→ *「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)*

アドバイス

- トップメニューの [Voice] にタッチすることでも、音声操作を行うことができます。
- 音声認識機能については車両の取扱説明書 (Bluetooth®2.0 インターフェース) をご覧ください。

お知らせ

音声認識機能は、周囲の状況や発話者の話し方で認識しにくくなる場合があります。以下の内容を理解した上でご使用ください。

- 大きめの声で、はっきりと話してください。認識しやすくなります。
- 発話の際、「えー」「えーっと」「あー」などを発話しないでください。別の言葉で認識する可能性があります。
- 車の窓を閉めてください。周囲騒音により間違って認識されることがあります。
- 発話時は同乗者の会話を控えてください。同乗者の声で間違って認識されることがあります。
- 発音が似ている単語を発話すると、間違って認識されることがあります。
- 周囲騒音が大きすぎると間違って認識されることがあります。
  例 : トンネル内走行、チェーン装着走行など
- エアコンの風量が大きい場合は認識しにくい場合があります。
- 以下の場合、発話を受け付けません。
  - 発声が遅すぎる (早すぎる)
  - 声が大きすぎる (小さすぎる)
  - 無音・発話が不明瞭
  - 「ピッ」音の前に発話した

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露 (水滴) が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
CD-DA	12cm	74 分	—
CD-TEXT	12cm	74 分	—
CD-R/RW	12cm	—	• MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク

- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cm ディスクは使用できません。
- 異形のディスク (ハート形など) は故障の原因となるため、使用しないでください。
  また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーやPC(パソコン)によって正しいフォーマットで記録したディスクでも､アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽 CD をお楽しみいただけますが、CD の規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO の入ったものなどのディスクをご使用ください。
- CD 規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD 規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
  - ● 再生時に雑音が混入する。
  - ● 音飛びする。
  - ● ディスクを認識しない。
  - ● 1 曲目を再生しない。
  - ● 頭出しの時間が通常より長い。
  - ● 曲の途中から再生する。
  - ● 部分的に再生できない箇所がある。
  - ● 再生の途中でフリーズする。
  - ● 誤表示する。

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について

本機では CD-ROM や CD-R/RW、USB デバイスに記録された MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルを再生することができます。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルをディスクや USB デバイスに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。
また、お手持ちの CD-R/RW ドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。
MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注 意

- 音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- MP3/WMA/AAC 形式以外のファイルに拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GB を超えるサイズのファイルは再生することができません。
- MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルが混在したディスクも再生することができます。

ファイルシステムについて

項目	DISC	USB デバイス※1
フォーマット仕様	ISO9660 レベル 1：最大 8 文字のファイル名と 3 文字の拡張子を持つ。(半角英大文字と半角数字、"_" が使用可能)	FAT32
	ISO9660 拡張 Joliet：最大 64 文字までをファイル名として使用可能である。	
マルチセッション	非対応 (先頭のセッションのみ対象)	先頭のパーティションのみ
最大階層数	8 階層 (Root を 1 階層目とした場合)	
最大フォルダ数※2	100 フォルダ	300 フォルダ
最大ファイル数※3	255 ファイル	3000 ファイル
ファイル名、フォルダ名の制限	上限 64 バイト (64 文字) とし、上限を超えるファイル名、フォルダ名を持つファイルやフォルダは表示および再生の対象外。	

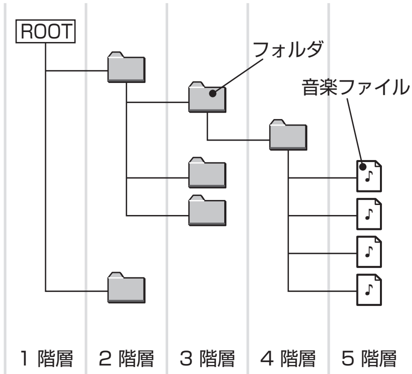
※ 1) マスストレージクラスのデジタルオーディオプレーヤーおよび 256MB 以上 (最大 32GB) のフラッシュメモリに対応。

※ 2) Root を含む。

※ 3) MP3/WMA/AAC ファイル以外は含まず。但し、同じフォルダに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダに分けて格納してください。

フォルダの構成について

フォルダは 8 階層まで認識することができます。
ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。



お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

MP3 とは

MP3 とは「MPEG-1AudioLayer3」の略称。MPEG とは「Motion Picture Experts Group」の略称でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。
MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の 1 つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。
音楽 CD の音質をほとんど損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができる為、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ書き込むことが可能になります。

注 意

- 下記規格以外で書き込まれた MP3 ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

■ 再生できる MP3 ファイルの規格について

再生できる MP3 ファイルの仕様は以下のとおりです。

※ タイプ別装備の Bluetooth® 2.0 インターフェース付き車の場合は、車両取扱説明書 (Bluetooth® 2.0 インターフェース) をご覧ください。

項目	内容	
規格	DISC	MPEG-1 AUDIO LAYER2/3
		MPEG-2 AUDIO LAYER2/3
		MPEG-2.5 AUDIO LAYER3
	USB	MPEG-1 AUDIO LAYER3
		MPEG-2 AUDIO LAYER3
サンプリング周波数 [kHz]	DISC	MPEG-1：32/44.1/48
		MPEG-2：16/22.05/24
		MPEG-2.5：8/11.025/12
	USB	MPEG-1：32/44.1/48
		MPEG-2：16/22.05/24
ビットレート [kbps]	DISC	MPEG-1：32 ～ 384
		MPEG-2/2.5：8 ～ 160
	USB	MPEG-1：32 ～ 320
		MPEG-2：32 ～ 160
VBR(可変ビットレート)		対応
チャンネルモード		ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
拡張子		mp3
対応タグ情報		ID3 タグ：Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4 タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル※1
ソースプレートに表示できる最大文字数		ファイル名　18 文字 フォルダ名　41 文字

※ 1)DISC モードでは非対応です。

WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。
MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

注 意

- WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。
- 下記規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Pro」「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

■ 再生できる WMA ファイルの規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

※ タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合は、車両取扱説明書 (Bluetooth®2.0 インターフェース) をご覧ください。

項目	内容	
規格	DISC	Windows Media Audio Version9.0 Standard
	USB	Windows Media Audio Version7.0/8.0/9.0
サンプリング周波数 [kHz]	DISC	32/44.1/48
	USB	16/22.05/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	DISC	32 ～ 320
	USB	16 ～ 320
VBR(可変ビットレート)		対応
チャンネルモード		ステレオ / モノラル
拡張子		wma
対応タグ情報		WMA タグ タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル※1
ソースプレートに表示できる最大文字数		ファイル名　18 文字 フォルダ名　41 文字

※ 1)DISC モードでは非対応です。

AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注 意

- AAC は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された AAC ファイルを再生することはできません。
- 下記規格以外で書き込まれた AAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

■ 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

※ タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合は、車両取扱説明書 (Bluetooth®2.0 インターフェース) をご覧ください。

項目	内容	
規格	DISC	MPEG-4/AAC-LC
	USB	Advanced Audio Coding MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC
サンプリング 周波数 [kHz]	DISC	11.025/16/22.05/24/32/44.1/48
	USB	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	DISC	16 ～ 320
	USB	16 ～ 576
VBR(可変ビットレート)		対応
チャンネルモード		ステレオ / モノラル
拡張子		m4a
対応タグ情報		AAC タグまたは ID3 タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル※1
ソースプレートに表示できる 最大文字数		ファイル名　18 文字 フォルダ名　41 文字

※ 1)DISC モードでは非対応です。

ラジオ

ラジオを聴く

FM 放送や AM 放送のラジオの聴きかたについて説明します。

1 **MENU キーを押す**

トップメニューを表示します。

2 **FM または AM にタッチする**



▼

ラジオのプリセット画面を表示します。

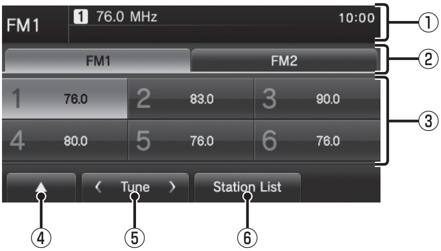
3 **＜Tune＞ にタッチして選局する**

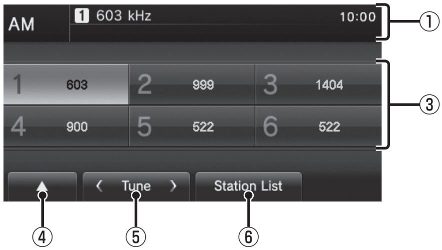


▼

選局した周波数の音声が流れます。

■ ラジオのプリセット画面について





① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名、プリセット CH 番号、受信中の周波数を表示します。

② [FM1]、[FM2]
それぞれ各 6 局までお好みの放送局を登録することができます。

③ **プリセットスイッチ**
お好みの放送局を登録することができます。希望のプリセット CH 番号のスイッチを「ピッ !」と鳴るまでタッチし続けると、現在受信中の放送局を登録することができます。
→ *「好みの放送局を登録する」(P31)*

④ [▲]
タッチするとサブメニューを表示し、[音質を調整する]*(P73)* の設定ができます。

⑤ [＜Tune＞]
周波数を変更するときに使用します。
「ピッ」と鳴るまでタッチし続けると自動選局 (シーク) を開始します。
→ *「シークを開始する」(P31)*

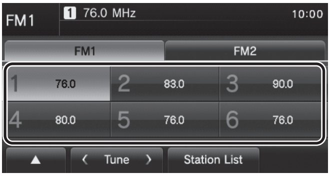
⑥ [Station List]
受信可能な放送局のリストを表示します。
→ *「リストから放送局を探す」(P31)*

好みの放送局を登録する

お好みの放送局を FM1、FM2、AM に各 6 局まで記憶することができます。

1 ラジオのプリセット画面で [< Tune >] にタッチし、登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットスイッチ”に「ピッ !」と鳴るまでタッチし続ける



▼

タッチしたプリセット CH 番号のスイッチに選局した放送局を登録します。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

■ シークを開始する

受信できる放送局を 1 つずつ探します。

1 ラジオのプリセット画面で「ピッ !」と鳴るまで [< Tune >] をタッチし続ける

▼



受信できる放送局が見つかると、音声が流れます。

リストから放送局を探す

受信可能な放送局のリストから選局することができます。

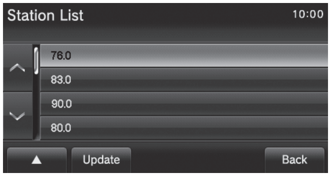
1 ラジオのプリセット画面で [Station List] にタッチする

Station List を表示します。

お知らせ

- AM の場合は、リストを表示する前に自動的に更新が行われます。
- FM の場合は、常に自動更新を行っています。

2 リストから受信したい放送局を選び、タッチする



▼

選んだ放送局の受信を開始します。

3 [Back] にタッチする

▼

元のラジオのプリセット画面に戻ります。

交通情報を聴く

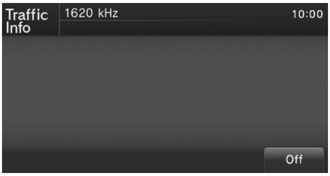
交通情報の聴きかたについて説明します。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 TI にタッチする

▼



交通情報の放送がされていれば受信します。

アドバイス

- 交通情報を受信すると、前回受信した交通情報の音量に切り換わります。交通情報受信時の音量が次回受信時の音量となります。
- 交通情報の受信周波数は 1620kHz です。1620kHz が受信できない場合は、1629kHz を受信します。
- 交通情報を約 5 秒間受信できない場合は、交通情報を解除します。
- [off] にタッチすると交通情報を解除し、元の画面に戻ります。

DISC

音楽 CD を聴く

音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。

→「ディスクを挿入する」(P18)

お知らせ

- 音楽 CD を本機に挿入した状態で操作してください。

1 **MENU キーを押す**

トップメニューを表示します。

2 **CD にタッチする**

音楽 CD の再生情報画面を表示します。

3 **∨ Track ∧ にタッチして曲を選ぶ**

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

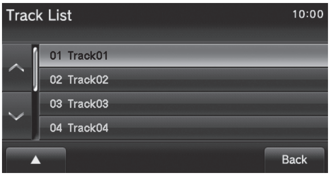
- ∨ Track ∧ にタッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

トラックリストを表示することができます。

1 **音楽 CD の再生情報画面で Track List にタッチする**

▼



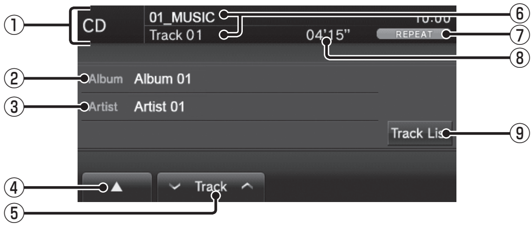
トラックリストを表示します。

2 **Back にタッチする**

▼

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

■ 再生情報画面について



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

④ [▲] *(P35)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

⑤ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

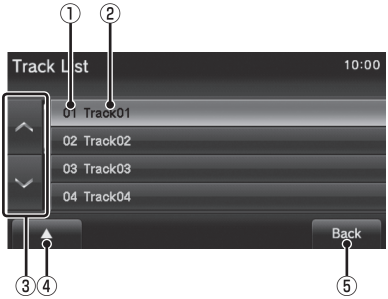
⑥ **トラック曲名 / 番号**
タイトル情報があれば曲名を表示します。

⑦ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P35)*
REPEAT ：リピート再生中
SCAN ：スキャン再生中
RANDOM ：ランダム再生中

⑧ **再生時間**

⑨ [Track List]
トラックリストを表示します。
→ *「リストを表示する」(P33)*

■ リストについて



① **トラック番号**

② **トラック名**
トラック名を表示します。
トラック名の情報が空白だった場合は、「Track(トラック番号)」と表示します。

③ **カーソルスイッチ**
ページスクロールができます。

④ [▲] *(P35)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

⑤ [Back]
音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

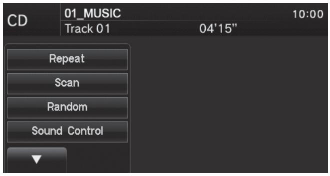
再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。

1 音楽 CD の再生情報画面で [▲] にタッチする

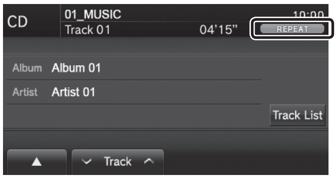
サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



3 [▼] にタッチする

▼



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 選んだ再生モードを解除するときは、手順 2 でもう一度選んだ再生モードにタッチします。

■ サブメニューについて

Repeat	再生中の曲を繰り返して再生します。
Scan	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
Random	ディスク内の曲を順不同に再生します。
Sound Control	音質調整ができます。 → *「音質を調整する」(P73)*
Current Track ※1	再生中の曲を先頭にしたトラックリストへ移動します。

※ 1) リスト表示中に表示したサブメニューのみの項目です。

DISC の音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P18)

お知らせ

- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

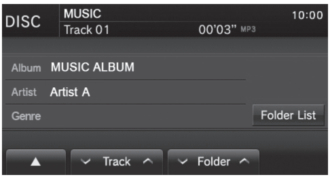
1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 CD にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 ∨ Folder ∧ にタッチしてフォルダを選ぶ



4 ∨ Track ∧ にタッチして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

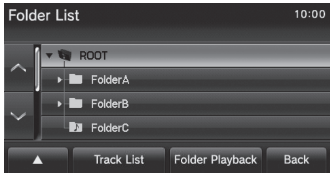
- ∨ Track ∧ にタッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。

1 音楽ファイルの再生情報画面で Folder List にタッチし、ROOT にタッチする

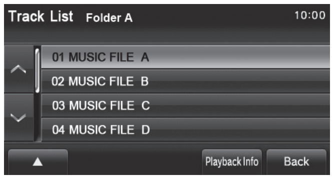
▼



フォルダリストを表示します。

2 フォルダを選択し、Track List にタッチする

▼



トラックリストを表示します。

3 Playback Info にタッチする

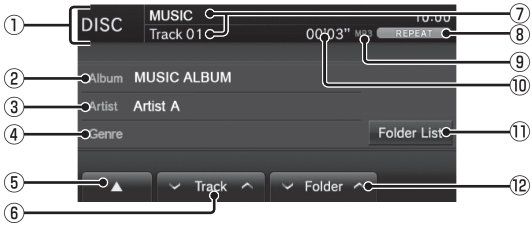
▼

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- ∨ や ∧ にタッチしてフォルダを選ぶことができます。

■ 再生情報画面について



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

④ **ジャンル**
ジャンル情報は表示されません。

⑤ [▲] *(P39)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

⑥ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑦ **曲名 / トラック番号**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑧ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P39)*
REPEAT ：リピート再生中
FOLDER REPEAT ：フォルダリピート再生中
SCAN ：スキャン再生中
FOLDER SCAN ：フォルダスキャン再生中
RANDOM ：ランダム再生中
ALL RANDOM ：オールランダム再生中

⑨ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

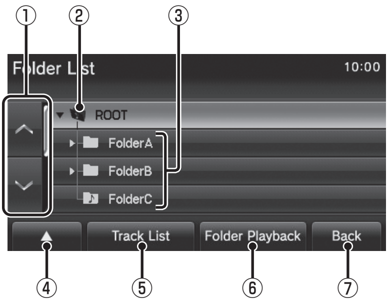
⑩ **再生時間**

⑪ [Folder List]
フォルダリストを表示します。
→ *「リストについて」(P38)*

⑫ [∨ Folder ∧]
フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

■ リストについて

フォルダリスト



① カーソルスイッチ
フォルダを選択できます。

② ROOT
階層の最上位を示します。

③ フォルダ名
タッチすると、フォルダを展開します。
は曲が入っているフォルダを示します。
は再生中の曲が入っているフォルダを示します。

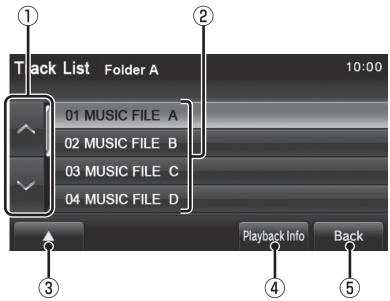
④ ▲ (P39)
サブメニューを表示し、再生モードの変更などができます。

⑤ Track List
選択中のフォルダを展開します。

⑥ Folder Playback
選択中のフォルダ内の曲を再生します。

⑦ Back
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

トラックリスト



① カーソルスイッチ
ページスクロールが行えます。

② トラック番号 / ファイル名
タッチすると、曲の再生を開始します。

③ ▲ (P39)
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

④ Playback Info
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑤ Back
フォルダリストに戻ります。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

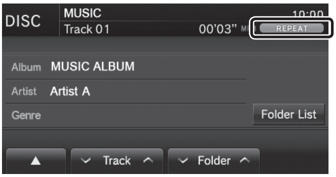
サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



3 ▼ にタッチする

▼



選んだモードの再生を開始します。

■ サブメニューについて

Repeat	タッチするたびに「リピート」→「フォルダリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **フォルダリピート**：再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
Scan	タッチするたびに「スキャン」→「フォルダスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。 **フォルダスキャン**：メディア内の全フォルダの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
Random	タッチするたびに「ランダム」→「オールランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。 **オールランダム**：メディア内の曲すべてを順不同に再生します。
Sound Control	音質調整ができます。 → *「音質を調整する」(P73)*
Current Track※1	再生中のトラックリストへ移動します。
ROOT※1	最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
Parent Folder※1	階層が 1 つ上がります。

※ 1)リスト表示中に表示したサブメニューのみの項目です。

混在ディスクを聴く

音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) と音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) の両方が記録された混在ディスクの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。

→ *「ディスクを挿入する」(P18)*

お知らせ

- 混在ディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

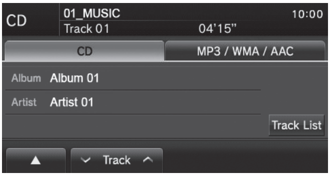
1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 CD にタッチする

混在ディスクの再生情報画面を表示します。

3 CD または MP3/WMA/AAC にタッチする



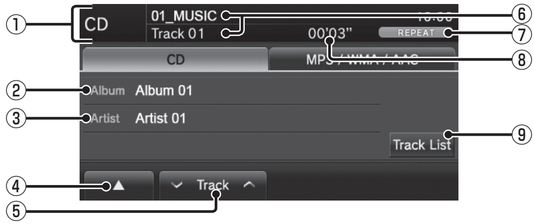
▼

以降の操作は、音楽 CD または音楽ファイルの聴きかたと同様に行います。

アドバイス

- [CD] にタッチした場合は、*「音楽 CD を聴く」(P33)* を参照してください。
- [MP3/WMA/AAC] にタッチした場合は、*「DISC の音楽ファイルを聴く」(P36)* を参照してください。

■ 再生情報画面について ([CD] にタッチしたとき)



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

④ [▲] *(P35)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

⑤ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑥ **トラック曲名 / 番号**
タイトル情報があれば曲名を表示します。

⑦ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P35)*
REPEAT ：リピート再生中
SCAN ：スキャン再生中
RANDOM ：ランダム再生中

⑧ **再生時間**

⑨ [Track List]
トラックリストを表示します。
→ *「リストを表示する」(P33)*

■ 再生情報画面について（[MP3/WMA/AAC] にタッチしたとき）



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

④ **ジャンル**
ジャンル情報は表示されません。

⑤ [▲] *(P39)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

⑥ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑦ **曲名 / トラック番号**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑧ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P39)*

REPEAT ：リピート再生中
FOLDER REPEAT ：フォルダリピート再生中
SCAN ：スキャン再生中
FOLDER SCAN ：フォルダスキャン再生中
RANDOM ：ランダム再生中
ALL RANDOM ：オールランダム再生中

⑨ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑩ **再生時間**

⑪ [Folder List]
フォルダリストを表示します。
→ *「リストについて」(P38)*

⑫ [∨ Folder ∧]
フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

iPod/USB

iPod を使う

市販されている iPod/iPhone を本機に接続することで、iPod/iPhone の曲を本機で再生することができます。

注 意

- 運転中に iPod/iPhone を手に持っての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- iPod/iPhone 本体を車内に放置しないでください。
- 本機と iPod/iPhone を接続して使用しているときに iPod/iPhone のデータが消失しても、その補償は致しかねます。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。

お知らせ

- iPod/iPhone の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。*(→ P6)*
  また、本書で説明する操作方法通りに再生できない場合があります。
- タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車に接続できる iPod/iPhone の種類や再生できるファイルの種類など詳細は車両取扱説明書をご覧ください。
- 最新のソフトウェアバージョンにした iPod/iPhone を推奨します。
- ソフトウェアをアップデートすると、本機と接続して利用できる機能が変更される場合があります。
- iPod/iPhone を本機に接続した状態で操作してください。
- iPod/iPhone の接続方法については、車両取扱説明書をご覧ください。
- iPod/iPhone を接続するときは、市販の iPod ケーブルを使用してください。

お知らせ

- iPod/iPhone を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod/iPhone と iPod ケーブルは接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。
- iPod/iPhone が正しく動作しないときは、iPod/iPhone を本機から外してリセットし、再度接続してください。
- ビデオ再生機能に対応した iPod/iPhone でも、ビデオの映像をご覧になれない場合があります。
- 接続ケーブルを挟み込んだり、走行中に危険がないように設置してください。
- iPod/iPhone を抜き差しするときは、安全のために車両を停止させて、抜き差ししてください。
- iPod/iPhone の状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- iPod/iPhone 接続中は機器のボタンは操作できません。
- iPod/iPhone の仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- iPod/iPhone 内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- iPod/iPhone のイコライザー設定をフラットにすることをお勧めします。

iPod を再生する

1 **MENU キーを押す**

トップメニューを表示します。

2 **iPod にタッチする**

iPod 再生情報画面を表示します。

3 **∨ Track ∧ にタッチして曲を選ぶ**

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∨ Track ∧ にタッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

iPod のビデオを見る

お知らせ

- ビデオ再生機能のない iPod/iPhone では本機能をご使用になれません。
- タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合は本機能をご使用になれません。
- iPod ビデオ再生には、ケーブルの購入が必要です。
- iPod ビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。

1 **MENU キーを押す**

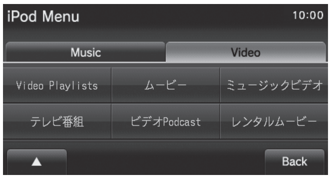
トップメニューを表示します。

2 **iPod にタッチする**

iPod 再生情報画面を表示します。

3 **iPod Menu → Video にタッチする**

4 **“カテゴリー” にタッチする**



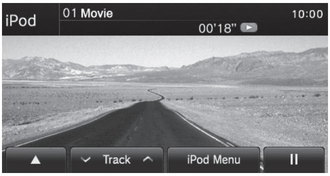
5 **再生したい “トラック” にタッチする**

▼

選んだトラックのビデオを再生します。

■ ビデオ再生情報画面について

ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。

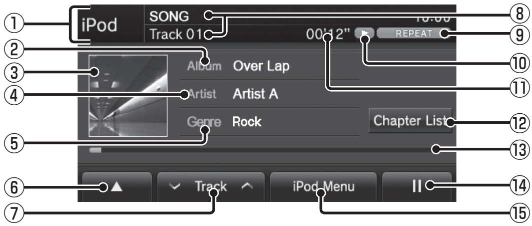


iPod MENU	iPod メニューを表示します。→ *「iPod メニューについて」(P47)*
∨ Track ∧	ビデオを選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。
▲	タッチすると、サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。→ *「サブメニューについて」(P48)*
▶ , ❚❚	再生 / 一時停止が行えます。

AV

iPod/USB

■ iPod 再生情報画面について



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ **アートワーク**※1
iPod 内にアートワーク情報があれば、画像を表示します。

④ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ **ジャンル**
タイトル情報にジャンル情報があれば再生しているトラックのジャンル名を表示します。

⑥ [▲]
タッチすると、サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。
→ *「サブメニューについて」(P48)*

⑦ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑧ **曲名 / トラック番号**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑨ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→ *「再生モードを変更する」(P47)*
REPEAT ：シングルリピート再生中
SHUFFLE ：シャッフル再生中
ALBUM-SHUFFLE ：アルバムシャッフル再生中
RPT/SHUFFLE ：シングルリピート / シャッフル再生中
RPT/ALBUM-SFL ：シングルリピート / アルバムシャッフル再生中

⑩ **状態アイコン**
[▶]：再生中
[▶▶]：再生中 (再生速度：速い) ※1※2
[I▶]：再生中 (再生速度：遅い) ※1※2
[II]：一時停止中
[■]：停止中
[▶▶]：早送り中
[◀◀]：早戻し中

⑪ **再生時間**

⑫ [Chapter List] ※1
オーディオブックのチャプターリストを表示します。
→ *「チャプターリストを表示する」(P49)*

⑬ **プログレスバー**※1
トラックの再生進捗率を表示します。

⑭ [▶] , [II] ※1
再生 / 一時停止が行えます。

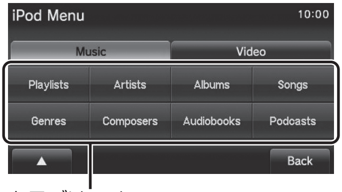
⑮ [iPod Menu]
iPod メニューを表示します。
→ *「iPod メニューについて」(P47)*

※ 1)タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合は表示しません。

※ 2)オーディオブック再生中のみ

■ iPod メニューについて

iPod 再生情報画面で [iPod Menu] にタッチすると表示します。
iPod メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。



カテゴリーメニュー

Music※	Music のカテゴリーメニューを表示します。
Video※	ビデオのカテゴリーメニューを表示します。
カテゴリーメニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 → *「リストで探す」(P48)*
Back	再生情報画面に戻ります。 → *「iPod 再生情報画面について」(P46)*
▲	サブメニューを表示し、再生モードの変更などができます。 → *「サブメニューについて」(P48)*

※ タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合は表示しません。

再生モードを変更する

リピート再生やランダム再生などが行えます。

1 iPod 再生情報画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



3 ▼ にタッチする

▼



選んだモードの再生を開始します。

■ サブメニューについて

Repeat	タッチするたびに「リピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：現在再生中の曲を繰り返して再生します。 解除時、再生中の階層内にある曲を繰り返して再生します。
Random	タッチするたびに「シャッフル」→「アルバムシャッフル」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。 **アルバムランダム**：再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。但し、アルバム内の曲順は変わりません。
Playback Speed※	タッチするたびに （普通）→ （速い）→ （遅い）→ （普通）と切り換わります。 但し､オーディオブックの曲のみです。
Sound Control	音質調整ができます。 →*「音質を調整する」(P73)*

※ タイプ別装備の Bluetooth® 2.0 インターフェース付き車の場合は、本メニューは表示されません。

アドバイス

- リピート中は､シャッフルやアルバムシャッフルを行ってもリピートを継続します。

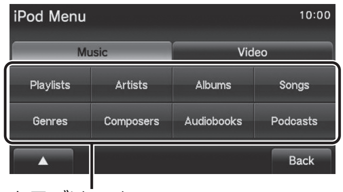
リストで探す

iPod メニュー *(P47)* でカテゴリーにタッチするとそのカテゴリーのリストを表示します。リストにタッチしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。

1 iPod 再生情報画面で iPod Menu にタッチする

iPod メニューを表示します。

2 “カテゴリー” にタッチする

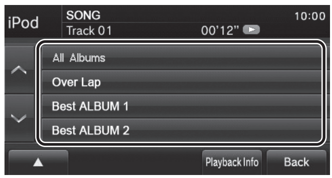


カテゴリーメニュー

▼

選んだカテゴリーのリストを表示します。

3 リストから再生したい “項目” にタッチする



▼

選んだ項目内のリストを表示します。
手順 3 の操作を繰り返し､トラックを探します。
リストから再生したいトラックにタッチすると、再生を開始します。

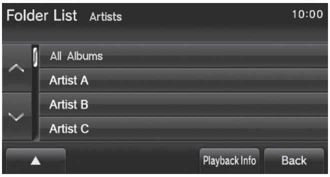
アドバイス

- 手順 2 で選んだカテゴリーによって、手順 3 で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPod に記録されているタイトル情報を表示します。

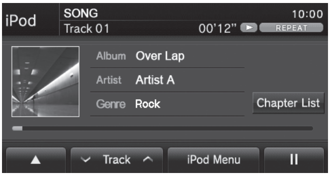
■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生しているiPod 再生情報画面を表示することができます。

1 リスト表示画面で Playback Info にタッチする



▼



■ チャプターリストを表示する

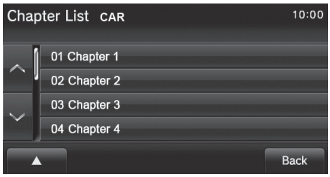
iPod 内にオーディオブックが収録されていれば、オーディオブックのチャプターリストを表示することができ、チャプターごとに再生することができます。
ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

お知らせ

- オーディオブック再生機能のない iPod では本機能はご使用になれません。

1 オーディオブック再生中、ミュージック再生情報画面で Chapter List にタッチする

▼



USB デバイスの音楽ファイルを聴く

市販されている USB デバイスを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生することができます。

注 意

- 運転中に USB デバイスを手に持っての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- USB デバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のイグニッションキーを“OFF”にしてから取り外してください。
- USB デバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。

お知らせ

- タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車で再生できるファイルの種類など詳細は車両取扱説明書をご覧ください。
- USB デバイスの接続方法については、車両取扱説明書をご覧ください。
- USB デバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 音楽ファイルが記録された USB デバイスを本機に接続した状態で操作してください。

お知らせ

- USB デバイスを接続するときは、市販の接続ケーブルを使用してください。接続ケーブルを使用しないで接続すると、USB 接続部に負荷がかかりコネクターが破損する場合があります。
- 接続ケーブルを挟み込んだり、走行中に危険がないように設置してください。
- USB デバイスを抜き差しするときは、安全のために車両を停止させて、抜き差ししてください。
- USB 端子に対応の機器以外を挿入しないでください。機器や装置が破損する場合があります。
- USB デバイスの状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- USB デバイス接続中は機器のボタンは操作できません。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- USB デバイスの仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- USB デバイス内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 USB にタッチする

再生情報画面を表示します。

3 ∨ Folder ∧ にタッチしてフォルダを選ぶ

4 ∨ Track ∧ にタッチして曲を選ぶ

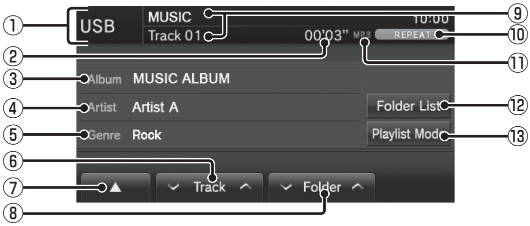
▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ∨ Track ∧ にタッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

■ 再生情報画面について



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **再生時間**

③ **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ **ジャンル名**
タイトル情報にジャンル情報があれば再生しているトラックのジャンル名を表示します。

⑥ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑦ [▲]
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。
→*「サブメニューについて」(P55)*

⑧ [∨ Folder ∧]
フォルダを選ぶときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ **曲名 / トラック番号**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑩ **再生モード表示**
現在の再生モードを表示します。
→*「再生モードを変更する」(P54)*

REPEAT：リピート再生中
FOLDER REPEAT：フォルダリピート再生中
SCAN：スキャン再生中
FOLDER SCAN：フォルダスキャン再生中
RANDOM：ランダム再生中
ALL RANDOM：オールランダム再生中
REPEAT：シングルリピート再生中※1
SHUFFLE：シャッフル再生中※1
ALBUM-SHUFFLE：アルバムシャッフル再生中※1
RPT/SHUFFLE：シングルリピート / シャッフル再生中※1
RPT/ALBUM-SFL：シングルリピート / アルバムシャッフル再生中※1

⑪ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。
プレイリストモード時は表示されません。

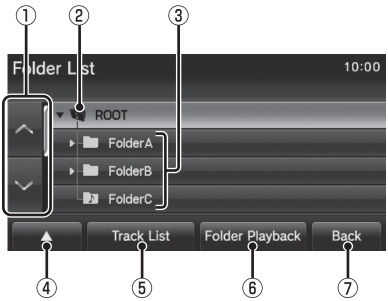
⑫ [Folder List]
フォルダリストを表示します。
→*「リストについて」(P52)*
また、[Playlist Mode] が ON のときは、[Music Menu] と表示し、タッチするとミュージックメニューを表示します。
→*「ミュージックメニューについて」(P54)*

⑬ [Playlist Mode] ※2
USB デバイス内にタイトル情報があれば表示します。
タッチして ON 状態のとき、[Folder List] が [Music Menu] に変わり、ミュージックメニューを表示できるようになります。

※ 1)プレイリストモード時のみ
※ 2)タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車のみ

■ リストについて

フォルダリスト



① **カーソルスイッチ**
フォルダを選択できます。

② ROOT
階層の最上位を示します。

③ **フォルダ名**
タッチすると、フォルダを展開します。
 は曲が入っているフォルダを示します。
 は再生中の曲が入っているフォルダを示します。

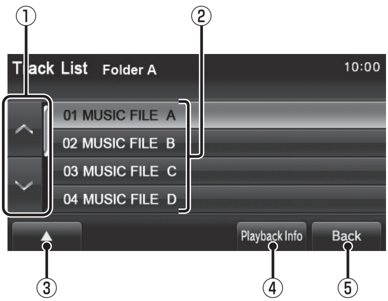
④ [▲] *(P55)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などができます。

⑤ [Track List]
選択中のフォルダを展開します。

⑥ [Folder Playback]
選択中のフォルダ内の曲を再生します。

⑦ [Back]
USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

トラックリスト



① **カーソルスイッチ**
ページスクロールが行えます。

② **トラック番号 / ファイル名**
タッチすると、曲の再生を開始します。

③ [▲] *(P55)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などが行えます。

④ [Playback Info]
USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

⑤ [Back]
フォルダリストに戻ります。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。

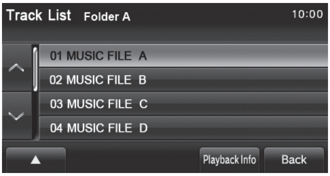
1 **USB デバイスの再生情報画面で [Folder List] にタッチし、[ROOT] にタッチする**

▼

フォルダリストを表示します。

2 **フォルダを選択し、[Track List] にタッチする**

▼



トラックリストを表示します。

3 **[Playback Info] にタッチする**

▼

USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [∨] や [∧] にタッチしてフォルダを選ぶことができます。

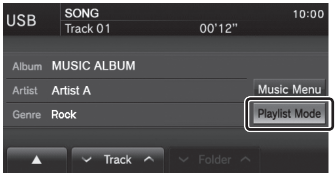
[タイプ別装備]
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

ミュージックメニューを表示する

ミュージックメニューを表示すると、アーティストやアルバムごとのリストを表示することができます。

1 **USB デバイスの再生情報画面で [Playlist Mode] にタッチする**

▼

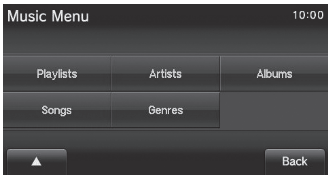


[Playlist Mode] が ON 状態になり、[Folder List] が [Music Menu] に変わります。

2 **[Music Menu] にタッチする**

ミュージックメニューを表示します。

3 **いずれかの“メニュー”にタッチする**

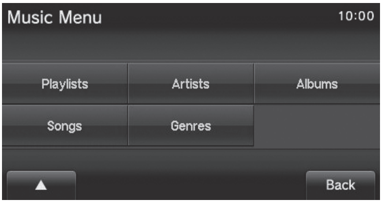


▼

各メニューに対応したリストを表示します。

■ ミュージックメニューについて

再生情報画面で、[Playlist Mode] が ON のときに、[Music Menu] にタッチすると表示するメニューについて説明します。



Playlists	プレイリストのリストを表示します。
Artists	アーティストのリストを表示します。
Albums	アルバムのリストを表示します。
Songs	曲のリストを表示します。
Genres	ジャンルのリストを表示します。
Back	再生情報画面に戻ります。 *→「再生情報画面について」(P51)*
▲	サブメニューを表示し、再生モードの変更などができます。 *→「サブメニューについて」(P55)*

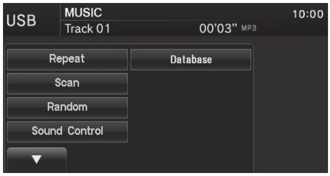
再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 USB デバイスの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

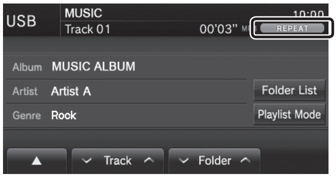
サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



3 ▼ にタッチする

▼



選んだモードの再生を開始します。

■ サブメニューについて

Repeat	タッチするたびに「リピート」→「フォルダリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **フォルダリピート**：再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
Scan※1	タッチするたびに「スキャン」→「フォルダスキャン」→「解除」と切り換わります。 **スキャン**：再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。 **フォルダスキャン**：USB デバイス内の全フォルダの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。Bluetooth®2.0 インターフェース付き車の場合は、USB デバイス内の全フォルダの全曲を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
Random	タッチするたびに「ランダム」→「オールランダム」→「解除」と切り換わります。 **ランダム**：再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。 **オールランダム**：USB デバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
Sound Control	音質調整ができます。 *→「音質を調整する」(P73)*
Current Track※2	再生中のトラックリストへ移動します。
ROOT※2	最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
Parent Folder※2	階層が 1 つ上がります。
Database※3	Gracenote バージョンが確認できます。

※ 1)プレイリストモード中は表示されません。

※ 2)フォルダリスト表示中に表示したサブメニューのみの項目です。

※ 3)タイプ別装備の Bluetooth®2.0 インターフェース付き車のみの項目です。

外部入力機器

タイプ別装備
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

Bluetooth Audio を使う

本機では、市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を再生することができます。

注 意

- 運転中に Bluetooth 対応オーディオ機器を手に持っての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- Bluetooth オーディオ機器を車内に放置しないでください。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合があるのでデータのバックアップをお勧めします。

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- ソフトウェアをアップデートすると、本機と接続して利用できる機能が変更される場合があります。
- Bluetooth 対応オーディオ機器を本機に接続している状態では、携帯電話の機能はご利用になれません。

お知らせ

- 市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になる恐れがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。
→ *「音量を調節する」(P17)*
- Bluetooth オーディオ機器の状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器の仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器のイコライザー設定をフラットにすることをお勧めします。
- 初めて Bluetooth オーディオを聴く場合は接続設定をする必要があります。*(P57)*

Bluetooth 対応オーディオ機器を接続する

本機と Bluetooth 対応オーディオ機器は、Bluetooth 機能を使用して接続します。
接続のしかたについては*「Bluetooth の設定」(P82)* をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- iPod/iPhone を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod/iPhone と iPod ケーブルは接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。

Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を聴く

1 **MENU キーを押す**

トップメニューを表示します。

2 **BT Audio にタッチする**

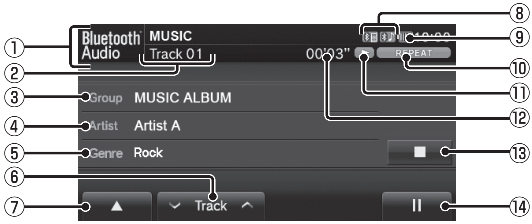
Bluetooth Audio の再生情報画面を表示します。

3 **∨ Track ∧ にタッチして曲を選ぶ**

アドバイス

- ∨ Track ∧ にタッチし続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

■ 再生情報画面について



① **ソースプレート**
現在選ばれているソース名や再生中のトラック番号、再生時間、再生モードなどを表示します。

② **曲名 / トラック番号**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

③ **グループ名**※1
タイトル情報があればグループ名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ **アーティスト名**※1
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ **ジャンル名**※1
タイトル情報があればジャンル名を表示します。タイトル情報がなければ何も表示されません。

⑥ [∨ Track ∧]
曲を選ぶときに使用します。タッチし続けると早送り、早戻しが行えます。

⑦ [▲] ※1 *(P59)*
サブメニューを表示し、再生モードの変更などができます。

⑧ **Bluetooth 接続アイコン**
[AUDIO アイコン]：AUDIO 接続状態
[電話アイコン]：電話接続状態

⑨ **バッテリー残量表示**※1
接続している Bluetooth 対応オーディオ機器のバッテリー残量を表示します。

⑩ **再生モード表示**※1, ※2
REPEAT ：リピート再生中
ALL REPEAT ：オールリピート再生中
SCAN ：スキャン再生中
RANDOM ：ランダム再生中

⑪ **状態アイコン**※1
[▶]：再生中
[❚❚]：一時停止中
[■]：停止中
[▶▶]：早送り中
[◀◀]：早戻し中

⑫ **再生時間**※1

⑬ [■]
再生を停止します。

⑭ [▶] , [❚❚]
再生、一時停止の操作が行えます。

※ 1)AVRCP が v1.0 のときは表示しません。
※ 2)情報が取得できないときは表示しません。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

※ AVRCP が v1.0 のときはこの機能をご利用になれません。

1 Bluetooth Audio の再生情報画面などで、[▲] にタッチする

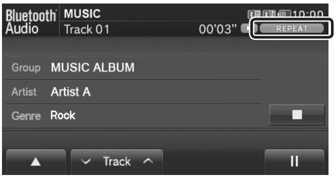
サブメニューを表示します。

2 変更したい“モード”にタッチする



3 [▼] にタッチする

▼



選んだモードの再生を開始します。

■ サブメニューについて

Repeat	タッチするたびに「リピート」→「オールリピート」→「解除」と切り換わります。 **リピート**：再生中の曲を繰り返して再生します。 **オールリピート**：Bluetooth 対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
Scan	タッチするたびに「スキャン」→「解除」と切り換わります。 再生中の曲があるグループ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
Random	タッチするたびに「ランダム」→「解除」と切り換わります。 再生中の曲があるグループ内の曲を順不同に再生します。
Sound Control	音質調整ができます。 → *「音質を調整する」(P73)*

タイプ別装備

AUX を使う

外部入力ケーブルおよび AUX 機器を本機に接続することで、音楽を本機で再生することができます。

注意

- 外部音声入力モードを解除した状態、または音量を下げてオーディオ機器を接続してください。
- 接続しなくても AUX に切り換わりますので未接続時の音量操作に注意してください。
- AUX 機器の映像をご覧になることはできません。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- 接続するオーディオ機器によってはノイズが発生することがあります。
- 接続するオーディオ機器の電源は、機器に付属のバッテリー等を使用してください。車両に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると、スピーカーからノイズ音が発生することがあります。
- オーディオ機器を接続していないときは、外部音声入力モードを選択しないでください。オーディオ機器を接続しないで外部音声入力モード選択状態にしていると、スピーカーからノイズ音が発生することがあります。
- AUX 機器の接続方法については、車両取扱説明書をご覧ください。

表示するには

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 AUX にタッチする



▼

AUX 機器の音声を出力します。

お知らせ

- タッチスイッチの [AUX] は、AUX 機器を本機に接続していない場合でも表示されます。

アドバイス

- ▲ → [Sound Control] にタッチすると、音質調整を行うことができます。
→ *「音質を調整する」(P73)*

情報 / 設定

情報

タイプ別装備
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

携帯電話を使う

本機とお手持ちの携帯電話を Bluetooth 接続することによりハンズフリー機能がご利用になれます。

注 意

- 安全のため運転中の携帯電話の操作はしないでください。携帯電話を操作するときは安全な場所へ停止して操作してください。
- 携帯電話を車内に放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどに下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- 接続中に携帯電話機で操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- 本機と携帯電話の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に携帯電話を置いてください。
- 本機では Bluetooth 対応の携帯電話と Bluetooth Audio を合わせて 7 台まで登録することができます。
- Bluetooth 対応の携帯電話機であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- Bluetooth 対応の携帯電話機であっても、電話機の仕様や設定により、表示が異なったり、正常に動作しない場合があります。
- 一部接続未確認の機種や、接続できない機種があります。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用して接続します。
接続のしかたについては*「Bluetooth の設定」(P82)* をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。

電話帳を表示する

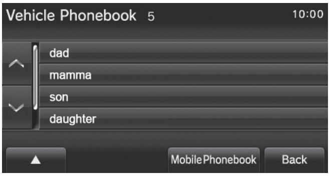
電話帳には、本機に記録される Vehicle Phonebook と携帯電話側を参照できる Mobile Phonebook があります。

1 MENU キーを押し、Phone にタッチする

Mobile Phone 画面を表示します。

2 ▲ → PhoneBook にタッチする

▼



Vehicle Phonebook 画面または Mobile Phonebook 画面を表示します。
このときに表示するのは、前回表示した Phonebook です。

お知らせ

- Mobile Phonebook は、電話番号の登録や編集、消去の操作を本機側で行えません。
- Vehicle Phonebook 画面のときに Mobile Phonebook を見たいときは、[Mobile Phonebook] にタッチします。
- Mobile Phonebook 画面のときに Vehicle Phonebook を見たいときは、[Vehicle Phonebook] にタッチします。

電話帳に登録する

電話番号の登録が行えます。

■ 携帯電話から登録する

携帯電話の電話帳を Vehicle Phonebook に読み込むことができます。

注 意

- Vehicle Phonebook の登録は安全な場所に車両を停車して行ってください。

お知らせ

- 転送されるメモリーは電話番号と名称のみです。
- Vehicle Phonebook に登録できるのは最大 32 件です。
- Mobile Phonebook は最大 1000 件まで表示することができます。
- 対応携帯電話でも、機種、設定によっては全てのまたは一部のデータが転送できない場合があります。
- 転送が終了するまで数分かかることがあります。
- Mobile Phonebook は電話番号の登録や編集、消去の操作を本機側で行えません。
- 携帯電話の操作方法は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 件のみ読み込む

1 Vehicle Phonebook 画面を表示する

→ *「電話帳を表示する」(P63)*

2 [▲] → [Import] にタッチする

3 [Yes] にタッチする

「Import one phonebook entry?」というメッセージ表示中に行います。

4 電話番号を選択する

携帯電話側の操作で転送する電話番号を選択する必要があります。
詳しくは、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▼

Mobile Phonebook からの読み込みが完了すると、「Import successful.」というメッセージを表示します。

アドバイス

- お持ちの携帯電話が OPP(Object Push Profile) に対応している必要があります。
- 自宅、仕事、携帯のデータのみ転送できます。

すべて読み込む

1 Mobile Phonebook 画面を表示する

→「電話帳を表示する」(P63)

2 [▲] → [Import] にタッチする

3 [Yes] にタッチする

「Import entire phonebook from this phone?」というメッセージ表示中に行います。

▼

Mobile Phonebook からの読み込みが完了すると、「Import successful.」というメッセージを表示します。

アドバイス

- あらかじめ本機に登録されている Mobile Phonebook がある場合に電話帳登録を行うと上書きされます。
- 自宅、仕事、携帯のデータのみ転送できます。
- お持ちの携帯電話が PBAP(Phone Book Access Profile) に対応している必要があります。

電話帳を編集する

登録済の電話帳を編集することができます。

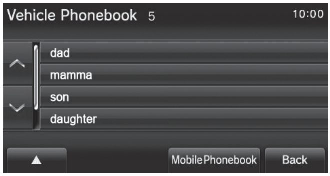
注 意

- Vehicle Phonebook の編集は安全な場所に車両を停車して行ってください。

1 Vehicle Phonebook 画面を表示する

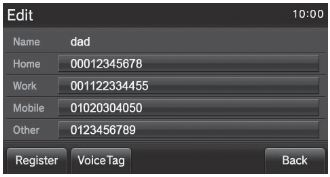
→「電話帳を表示する」(P63)

2 編集したい“電話帳”を選んでタッチする

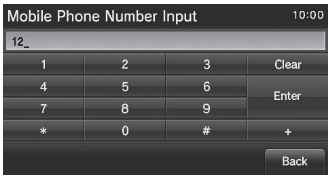


3 [Edit] にタッチする

4 編集したい“分類”にタッチする



5 電話番号を入力し、[Enter] にタッチする



アドバイス

- [Back] にタッチすると編集内容を破棄します。
- 編集画面で [Voice Tag] にタッチすると、ボイスタグの編集ができます。

■ 電話帳を消去する

登録済の電話帳を消去することができます。

注 意

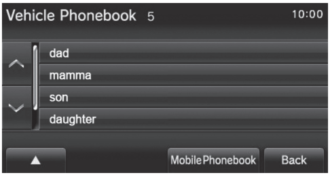
- Vehicle Phonebook の削除は安全な場所に車両を停車して行ってください。

1 件のみ消去する

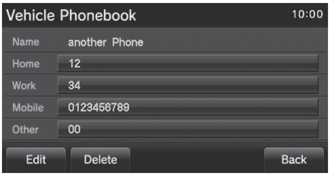
1 Vehicle Phonebook 画面を表示する

→「電話帳を表示する」(P63)

2 消去したい“電話帳”を選んでタッチする



3 [Delete] にタッチする



4 [Yes] にタッチする

▼

電話帳の消去が完了します。

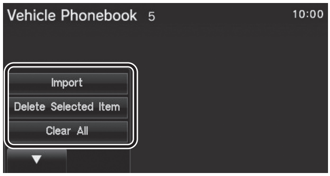
複数の電話帳を消去する

1 Vehicle Phonebook 画面を表示する

→「電話帳を表示する」(P63)

2 [▲] にタッチする

3 いずれかの“消去方法”にタッチする



Delete Selected Item	複数の電話帳を選んで [Delete] にタッチすると消去します。
Clear All	登録されているすべての電話帳を消去します。

4 [Yes] にタッチする

▼

電話帳の消去が完了します。

電話をかける

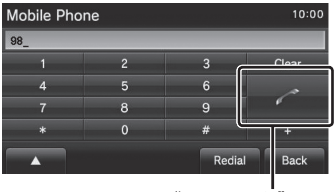
さまざまな方法で電話をかけることができます。

注 意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。
- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により 3 分間に 4 回以上かけることができない場合があります。

■ 電話番号を入力してかける

1 Mobile Phone 画面で、“電話番号”を入力する



“オフフック”キー

アドバイス

- 誤入力した場合は、[Clear] にタッチして 1 文字消去します。

2 “オフフック”キーにタッチする

▼

入力した電話番号への発信を開始します。

■ 直前にかけた相手にかける

1 Mobile Phone 画面で、Redial にタッチする

▼

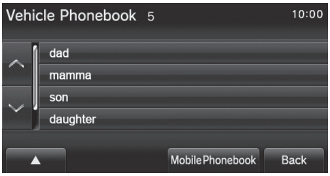
直前にかけた電話番号への発信を開始します。

■ 電話帳からかける

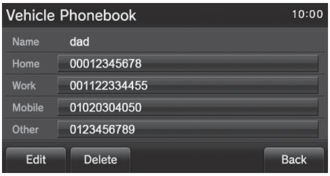
1 Vehicle Phonebook 画面または Mobile Phonebook 画面を表示する

→「電話帳を表示する」(P63)

2 “かけたい相手”を選んでタッチする



3 “かけたい電話番号”にタッチする



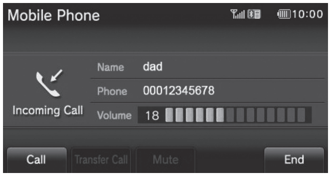
4 Yes にタッチする

▼

選んだ電話番号への発信を開始します。

電話がかかってくると

音声ガイドがなり、着信中の画面を表示します。



アドバイス

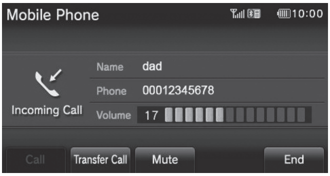
- [Mute] にタッチすると、本機に接続されたマイク機能を OFF にします。[Mute Off] にタッチすると、マイク機能が ON になります。
- [Transfer Call] にタッチすると、スピーカーおよびマイクの機能を携帯電話側に切り換えます。[Cancel transfer] にタッチすると、スピーカーおよびマイクの機能を本機側に切り換えます。
- 通話音量は、前回通話した音量に切り換わります。通話時の音量が次回通話時の音量となります。

■ かかってきた電話にでるには

1 **ステアリングの“オフフック”キーを押す**

→ *「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)*

▼



かかってきた電話との通話が可能となります。

アドバイス

- [Call] にタッチすることでも通話することができます。

■ 電話を終了する

1 **ステアリングの“オンフック”キーを押す**

→ *「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)*

▼

かかってきた電話との通話が終了します。

アドバイス

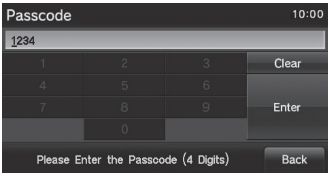
- [End] にタッチすることでも通話を終了することができます。

パスコードの設定

第三者に対して不用意に電話機能を使用できないようにパスコードによるロックをかけることができます。

1 **Mobile Phone 画面で、[▲] → [Lock] にタッチする**

2 **4 桁の“Passcode”を入力し、[Enter] にタッチする**



▼

パスコードの設定が完了します。

注 意

- 次に電話機能を使用するときに、さきほど入力したパスコードを入力する必要がありますので、忘れないようにしてください。

アドバイス

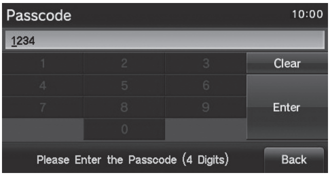
- 再起動後有効になります。
- エンジンスイッチを LOCK/OFF にした後、30 秒以上経ってからエンジンスイッチを ACC または ON にしてください。すぐにエンジンスイッチを ACC または ON にすると正しく設定されない場合があります。
- 暗証番号を設定した場合、エンジンスイッチを ON にした後に正しく設定されたことを確認ください。
- 暗証番号を忘れた場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

■ ロック状態を解除する

パスコードによるロック状態を解除します。
次に電話機能を使用するときにパスコードの入力が不要になります。

1 MENU キーを押し、Phone にタッチする

2 設定した “Passcode” を入力し、Enter にタッチする



3 ▲ → Unlock にタッチする

▼

パスコードによるロック状態を解除が完了します。

その他

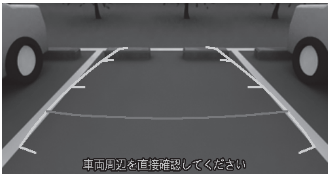
カメラを使う

■ リヤビューカメラ

別売のリヤビューカメラが接続されている場合、ディスプレイにリヤビューカメラの映像を表示することができます。
詳しくは、車両取扱説明書をご覧ください。

1 シフトポジションを「R」にする

▼



リヤビューカメラの映像を表示します。

■ サイドビューカメラ

別売のサイドビューカメラが接続されている場合、ディスプレイにサイドビューカメラの映像を表示することができます。
詳しくは、車両取扱説明書をご覧ください。

1 ステアリングの“カメラ”キーを押す

→「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)

▼

サイドビューカメラの映像を表示します。

アドバイス

- 再度ステアリングの“CAMERA”キーを押すと元の画面に戻ります。
- シフトポジションを「R」にするとリヤビューカメラ映像に切り換わります。
- 車速 12km/h 以上になると元の画面に戻ります。

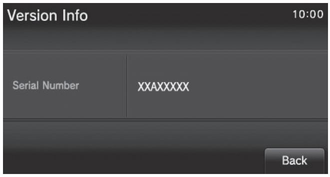
バージョンを確認する

■ シリアルナンバー

シリアルナンバーを確認できます。

1 MENU キーを押し、Setting → Version Info にタッチする

▼



Version Info 画面を表示します。

情報／設定　情報

タイプ別装備
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

■ Gracenote バージョン

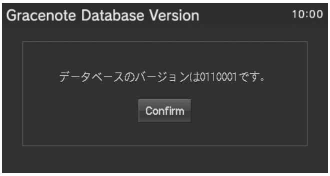
Gracenote のバージョンを確認できます。

1 USB デバイスの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 Database にタッチする

▼



Gracenote Database Version 画面を表示します。

設定

音質を調整する

音質に関する設定を変更します。

お知らせ

- AUDIO OFF 状態では音質を調整することができません。

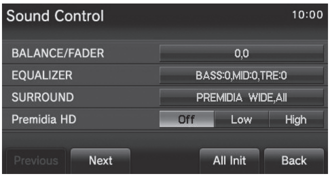
1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 Setting にタッチする

3 Sound Control にタッチする

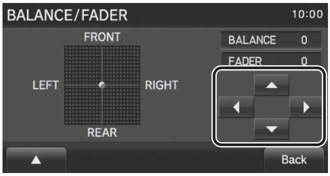
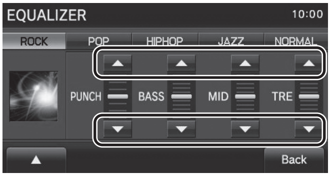
▼



音質設定画面を表示します。

設定項目について

「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

設定名		設定値	設定内容
BALANCE/FADER		BALANCE： L11 ～ L1,**0**,R1 ～ R11 (Left,Right)	各スピーカーから出力するレベルをカーソルスイッチで調節することができます。 
		FADER： F11 ～ F1,**0**,R1 ～ R11 (Front,Rear)	
EQUALIZER		ROCK	サウンドの種類を選ぶことができます。 カーソルスイッチにタッチしてレベルを調節することができます。(-5 ～ +5) ※ PUNCH はプレミアムオーディオ装着車のみの設定項目です。(0 ～ 6) 
		POP	
		HIPHOP	
		JAZZ	
		NORMAL	
SCV (Speed Compensated Volume)		Off	車の速度に応じて自動的に調整される音量のレベルを選択できます。
		Low	
		Mid	
		High	
SURROUND※1	SURROUND TYPE	DTS Neural※3※4	サラウンドの種類を選ぶことができます。
		PREMIDIA WIDE	
		Off	
	LISTENING POSITION	**Front**	音場の種類を選ぶことができます。
		Driver	
		All	
Premidia HD※1※2※3※4		**Off**	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声が持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節することができます。
		Low	
		High	
Dolby Volume※1※4		**Off**	さまざまなソースや楽曲の音量差をリアルタイムに自動調整するレベルを選択できます。
		Low	
		Mid	
		High	

※ 1)プレミアムオーディオ装着車のみの設定項目です。

※ 2)非圧縮音源にも効果があります。

※ 3)「DTS NEURAL」と「PREMIDIA HD」は同時に選択できません。

※ 4)オーディオソースがアナログラジオのときには無効となります。

アドバイス

- DOLBY VOLUME の効果が再生中の音楽の印象と合わないと感じる場合は、OFF にしてください。

システムの設定

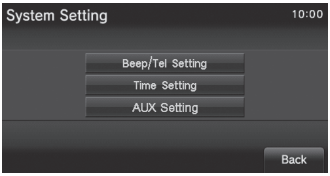
本機の操作音や時刻などシステムに関する設定が行えます。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 Setting → System Setting にタッチする

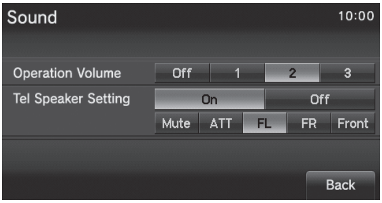
▼



System Setting 画面を表示します。

システム音を設定する

[Beep/Tel Setting] にタッチして表示する設定項目です。
「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

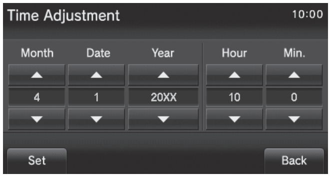
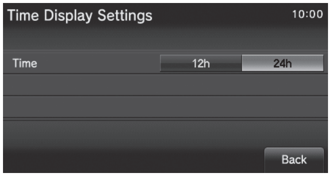


設定名	設定値		設定内容
Operation Volume	Off		[1] ～ [3] にタッチして、操作音量の設定が行えます。数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[Off] で無音になります。
	1		
	2		
	3		
Tel Speaker Setting※	On	Mute	通話時にオーディオが Mute になります。
		ATT	通話時にオーディオが小音になります。
		FL	右前スピーカーから通話音声を出力します。
		FR	左前スピーカーから通話音声を出力します。
		Front	Front スピーカーから通話音声を出力します。
	Off		車のスピーカーを使用しません。

※ 別売のハンズフリーキットの接続が必要です。

時計表示を設定する

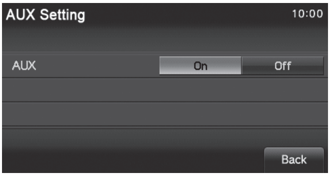
[Time Setting] にタッチして表示する設定項目です。

設定名	設定値	設定内容
Time Adjustment	日時	 それぞれの ▲ または ▼ にタッチし、日時を変更できます。[Set] にタッチすると変更した日時に設定します。
Time Display Settings	Time	 12h、24h 表記の設定ができます。

タイプ別装備
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

AUX を設定する

AUX 機能の ON/OFF を設定することができます。



お知らせ

- AUX 非対応車でも設定を ON にするとトップメニューに [AUX] が表示されます。但し、タッチしても音声は出力されません。

その他の設定

画面や Bluetooth 機器に関する設定が行えます。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。

1 **MENU キーを押す**

トップメニューを表示します。

2 **Setting → Display Off にタッチする**

▼



画面の表示を消します。

アドバイス

- 再度表示するときは、画面にタッチするか [MENU] キーを押します。

画質を調整する

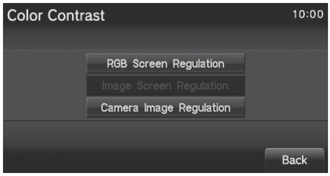
メニュー画面やリヤビューカメラ映像の色合いや明るさなどの調整が行えます。

1 **MENU キーを押す**

トップメニューを表示します。

2 **Setting → Color Contrast にタッチする**

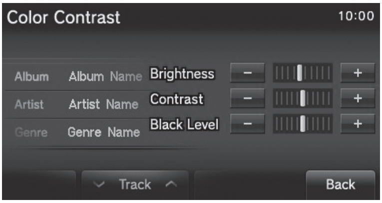
▼



画質調整の画面を表示します。

■ RGB 画面の調整

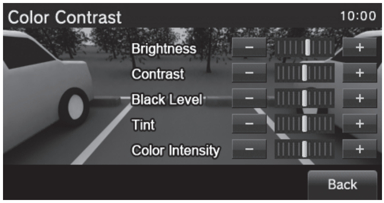
「Colour Contrast」で「RGB Screen Regulation」にタッチすると表示します。
メニュー画面などの明るさやコントラスト、黒の濃さを調整します。



設定名	設定内容
Brightness	明るさの調整を行います。 [＋] にタッチすると明るくなり、[－] にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
Contrast	コントラスト (メリハリ) の調整を行います。[＋] にタッチするとコントラストが強くなり、[－] にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
Black Level	黒の濃さの調整を行います。 [＋] にタッチすると黒の濃さが濃くなり、[－] にタッチすると弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ カメラ映像の調整

「Color Contrastl」で「Camera Image Regulation」にタッチすると表示します。
リヤビューカメラ映像の明るさやコントラスト、黒の濃さなどを調整します。



設定名	設定内容
Brightness	明るさの調整を行います。 [＋] にタッチすると明るくなり、[－] にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
Contrast	コントラスト (メリハリ) の調整を行います。[＋] にタッチするとコントラストが強くなり、[－] にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
Black Level	黒の濃さの調整を行います。 [＋] にタッチすると黒の濃さが濃くなり、[－] にタッチすると弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
Tint	色合いの調整を行います。 [＋] にタッチすると緑っぽくなり、[－] にタッチすると赤っぽくなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
Color Intensity	色の濃さの調整を行います。 [＋] にタッチすると色が濃くなり、[－] にタッチすると薄くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

画面の表示を時計にする

画面全面に時計を表示します。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 Setting → Clock Screen にタッチする

▼



時計を表示します。

アドバイス

- 画面にタッチすると元の画面に戻ります。
- [System Setting] → [Time Setting] → [Time Display Settings] で日時表示の様式を変更することができます。→ *「時計表示を設定する」(P78)*

タイプ別装備
(Bluetooth®2.0 インターフェース付き車)

Bluetooth の設定

市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続することができます。

Bluetooth(ブルートゥース) とは

Bluetooth は近距離 (数メートル以内) での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

- 本機は Ver.2.0+ EDR に対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth AUDIO	A2DP(v1.0) AVRCP(v1.3)
ハンズフリー	HFP(v1.5)
電話帳転送	OPP(v1.1) PBAP(v1.0)

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- 接続中に Bluetooth 機器での操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- Bluetooth 機器におけるパスキーの入力方法については Bluetooth 機器の取扱説明書をご確認ください。
- 接続に失敗することがあります。再度、登録してください。
- 本機と Bluetooth 機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に Bluetooth 機器を置いてください。
- Bluetooth 対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- お使いの Bluetooth 機器によっては、接続できない場合があります。
- 機器によっては接続までに時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機器は、最大 7 台まで登録できます。
最大数登録済みの場合は削除後登録してください。

■ Bluetooth 機器を登録する

Bluetooth 機器を本機に登録します。

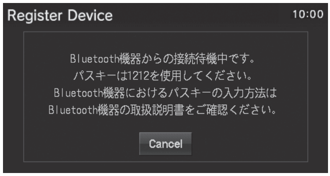
1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 Setting → Bluetooth Setting にタッチする

3 Register Device にタッチする

4 画面に表示されたパスキーを Bluetooth 機器に入力する



▼

接続が完了すると Bluetooth 機器を選択する画面を表示します。
詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- パスキーがもし違う場合は、Bluetooth 機器側の操作を最初からやり直してください。
- Bluetooth 機器によっては特定のパスコードが必要になる場合があります。
- Bluetooth 機器の設定によっては接続時に毎回パスコードが必要になる場合があります。
- Bluetooth 機器へのパスコード入力手順は Bluetooth 機器の取扱説明書に従って操作してください。

■ Bluetooth 機器を選択する

複数台の Bluetooth 機器を登録した場合、接続する Bluetooth 機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定した Bluetooth 機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

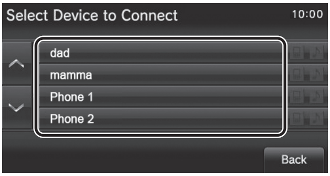
1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 Setting → Bluetooth Setting にタッチする

3 Select Device to Connect にタッチする

4 接続したい“機器名”にタッチする



5 Connect Telephone または Connect Audio にタッチする

接続したい Bluetooth 機器をハンズフリー用に使用する場合は [Connect Telephone] に、Bluetooth AUDIO 用に使用する場合は [Connect Audio] を選択します。

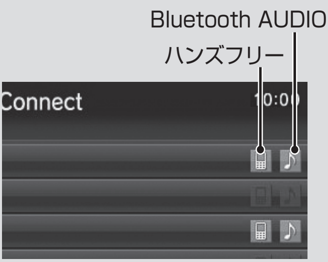
6 Enter → Yes にタッチする

▼

Bluetooth 機器の選択が完了します。

アドバイス

- ハンズフリー、Bluetooth AUDIO 両方に対応した Bluetooth 機器の場合は、同時に選択することができます。
  その場合、以下の表示となります。



■ パスキーを設定する

パスキー (工場出荷時「1212」) を設定します。

1 MENU キーを押す

トップメニューを表示します。

2 Setting → Bluetooth Setting にタッチする

3 Set Passkey にタッチする

4 任意の“4 桁のパスキー”を入力し、Enter にタッチする

▼

パスキーの設定が完了します。

その他

困ったときは

画面にメッセージや「故障かな？」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでもダメなときは販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。 ディスクをご確認ください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 → *「再生できるディスクの種類」(P22)*
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。ディスクを取り出して、しばらくお待ちください。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
このiPodは再生できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod を使用してください。*(P6)*
	iPodのソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB メモリは再生できません。	非対応 USB デバイスが接続された。	対応 USB デバイスを接続しなおしてください。 → *「USB デバイスの音楽ファイルを聴く」(P50)*
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 → *「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P24)*
	曲が入っていない iPod を接続した。	曲が入った iPod を接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。 → *「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P24)*
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状や原因、処置を説明します。

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。
操作音が鳴らない。	操作音が [Off] になっている。	[Sound] の“Operation Volume”を [1] ～ [3] に設定してください。 → *「システム音を設定する」(P77)*
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除 *(P80)* の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 → *「画質を調整する」(P80)*
オーディオの音がでない / 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。 → *「音量を調節する」(P17)*
	バランス / フェーダーが片寄っている。	バランス / フェーダーを調整してください。 → *「音質を調整する」(P73)*
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 → *「オーディオを ON/OFF する」(P17)*
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。